

個人投資家の皆さまへ

豊田通商株式会社 会社説明会

2025年 10月 21日

(証券コード 8015)

自己紹介



今井 斗志光

豊田通商株式会社
代表取締役社長

- 1988 ● 豊田通商 入社 ● :アフリカビジネス関連
- 1991 ● 同 マダガスカル事務所長
- 2000 ● 豊田通商アフリカ(南アフリカ)出向
- 2005 ● 豊田通商 経営企画部
- 2009 ● 同 販売品質強化部長
- 2013 ● CFAO社 副社長
- 2016 ● 豊田通商 執行役員(CFAO社 副社長)
- 2018 ● トヨタ自動車 常務役員(アフリカ本部長)
- 2019 ● 豊田通商 執行役員(アフリカ本部長補佐)
- 2021 ● 同 経営幹部
CDTO(Chief Digital & Technology Officer)
アフリカ本部COO、アフリカ極CEO補佐
- 2022 ● 同 副社長、CDTO
- 2025 ● 同 社長・CEO

目次

会社概要・業績推移

長期で目指す姿と中期経営計画

“次元上昇”と成長戦略

- ① 成長投資
 - ② 資本政策・株主還元
 - ③ 人財・組織
-

会社概要・業績推移

長期で目指す姿と中期経営計画

“次元上昇”と成長戦略

- ① 成長投資
 - ② 資本政策・株主還元
 - ③ 人財・組織
-

豊田通商グループについて（2025年3月末時点）

設立
1948年

連結従業員数
約**70,000**名

グローバル
ネットワーク
約**130**カ国・地域

連結関係会社数
（国内外合計）
約**1,000**社

トヨタ自動車出資
21.69%

2025/3期
当期利益
3,625億円

時価総額 ※
約**4.3**兆円

経営効率を示す
ROE **14.2**%

1株当たり配当金
105円
15期連続増配

Mission・Vision・Valuesの継承



Humanity 誠実に
思いやる
情熱をもって

Geminality 現場に寄り添う
現実に向き合う
やりぬく

Beyond 壁を超える
共に、切り拓く
未来を創り出す

*Geminality : Gemba(現場＝現地・現物) + Reality(現実)の造語

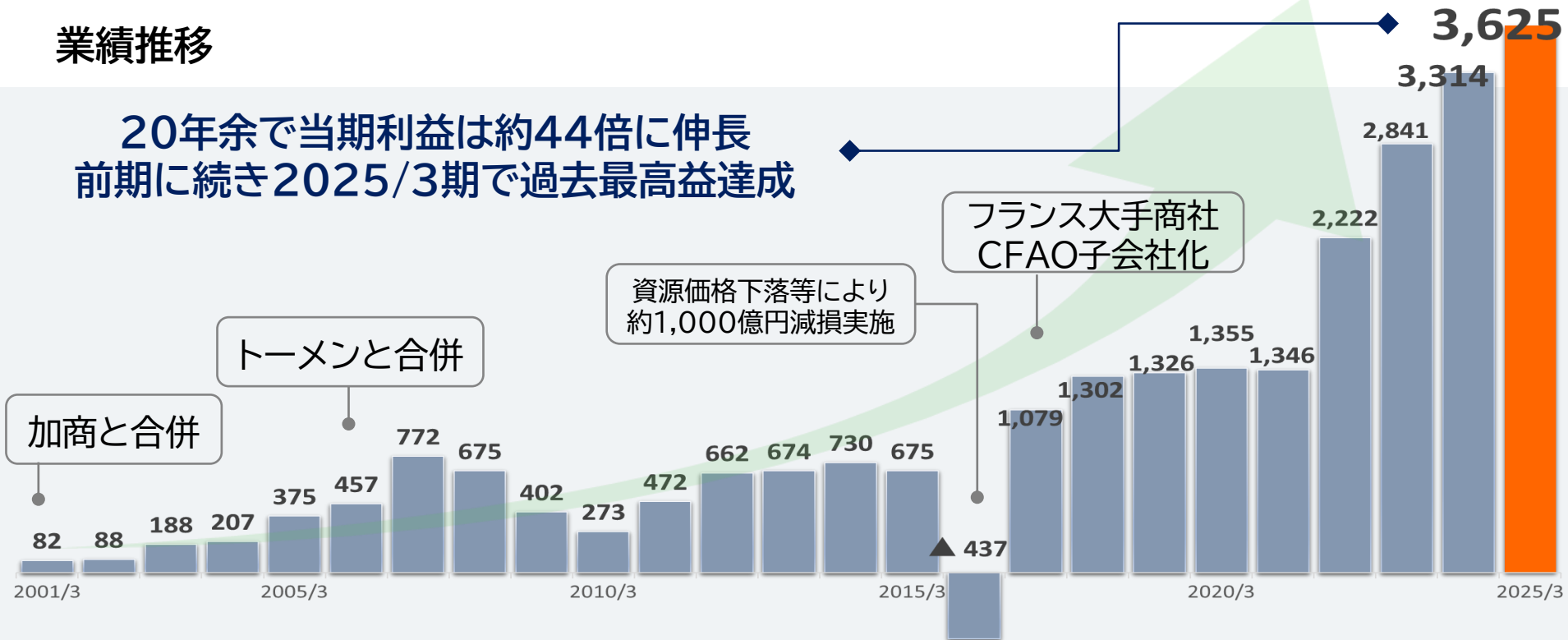
事業本部体制

各下段：2025年3月期 当期利益実績



業績推移

20年余で当期利益は約44倍に伸長
前期に続き2025/3期で過去最高益達成



2001/3期

2020/3期

2025/3期

2001年対比

当期利益 : 82億円

1,355億円

3,625億円

44倍

時価総額 : 1,179億円

8,957億円

4兆3,570億円※

37倍

※2025年9月末時点

会社概要・業績推移

長期で目指す姿と中期経営計画

“次元上昇”と成長戦略

- ① 成長投資
 - ② 資本政策・株主還元
 - ③ 人財・組織
-

長期に目指す姿 - 地球も社会もより良くする -

Nature Value

環境課題解決に
貢献する事業

脱炭素社会を実現し
豊かな環境を届ける

再生可能
エネルギー事業



エネルギー
マネジメント事業



Core Value

次世代モビリティ社会の実現に
貢献する事業

世界中に安心安全な
移動の自由を届ける

自動車素材
加工事業



自動車
代理店事業



Social Value

社会課題解決に
貢献する事業

健やかで快適な
持続可能な社会を届ける

循環型静脈事業



ヘルスケア事業



提供価値領域

Nature Value

Core Value

Social Value

企業価値の
向上



Mission

未来の子供たちに
より良い地球を届ける

地球課題の
解決



中期経営計画(26/3期～28/3期)の定量目標

当期利益(28/3期)

4,500
億円

ROE(28/3期)

15%
以上

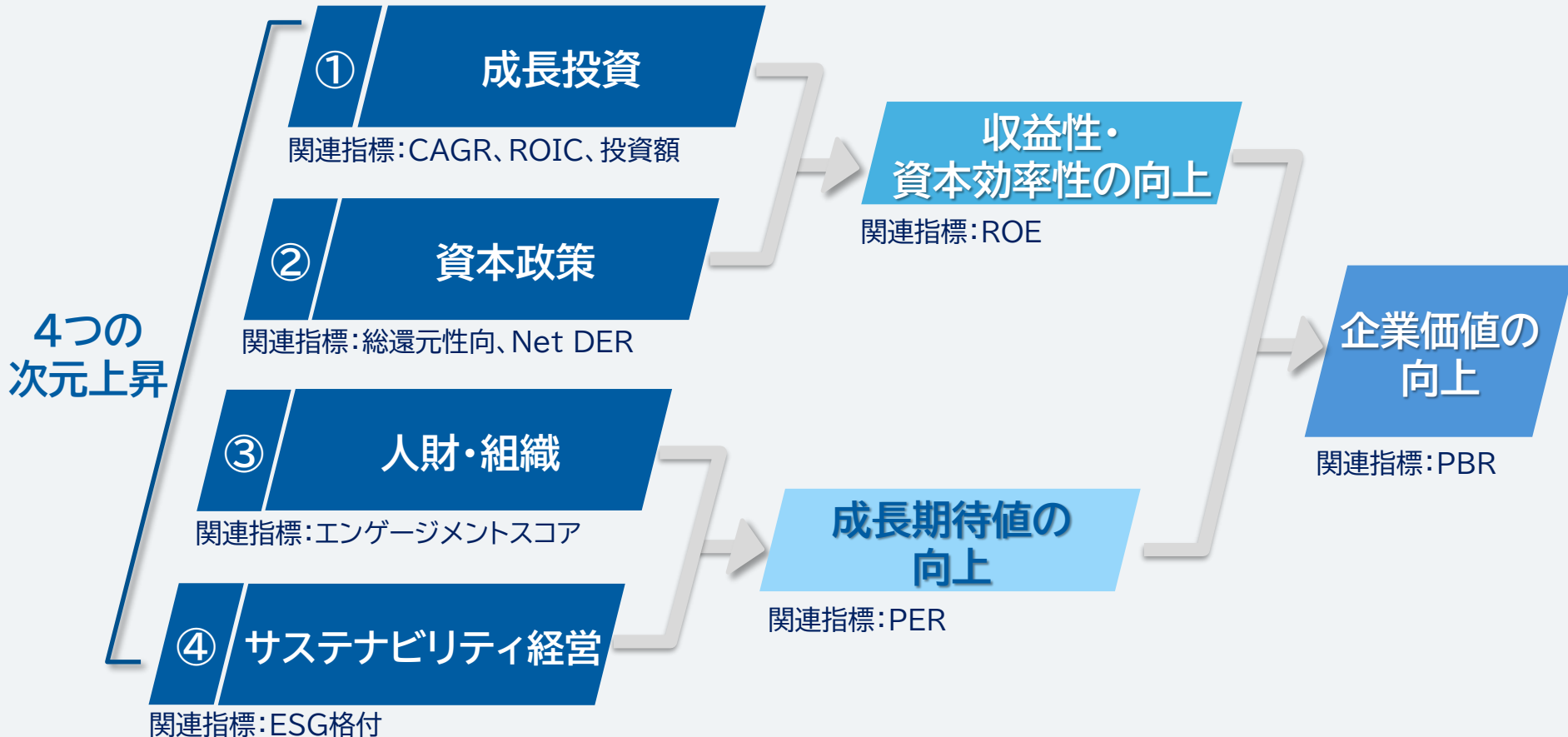
3年累計投資

1.2兆円
以上

総還元性向

40%
以上

中期経営計画 次元上昇による企業価値向上



会社概要・業績推移

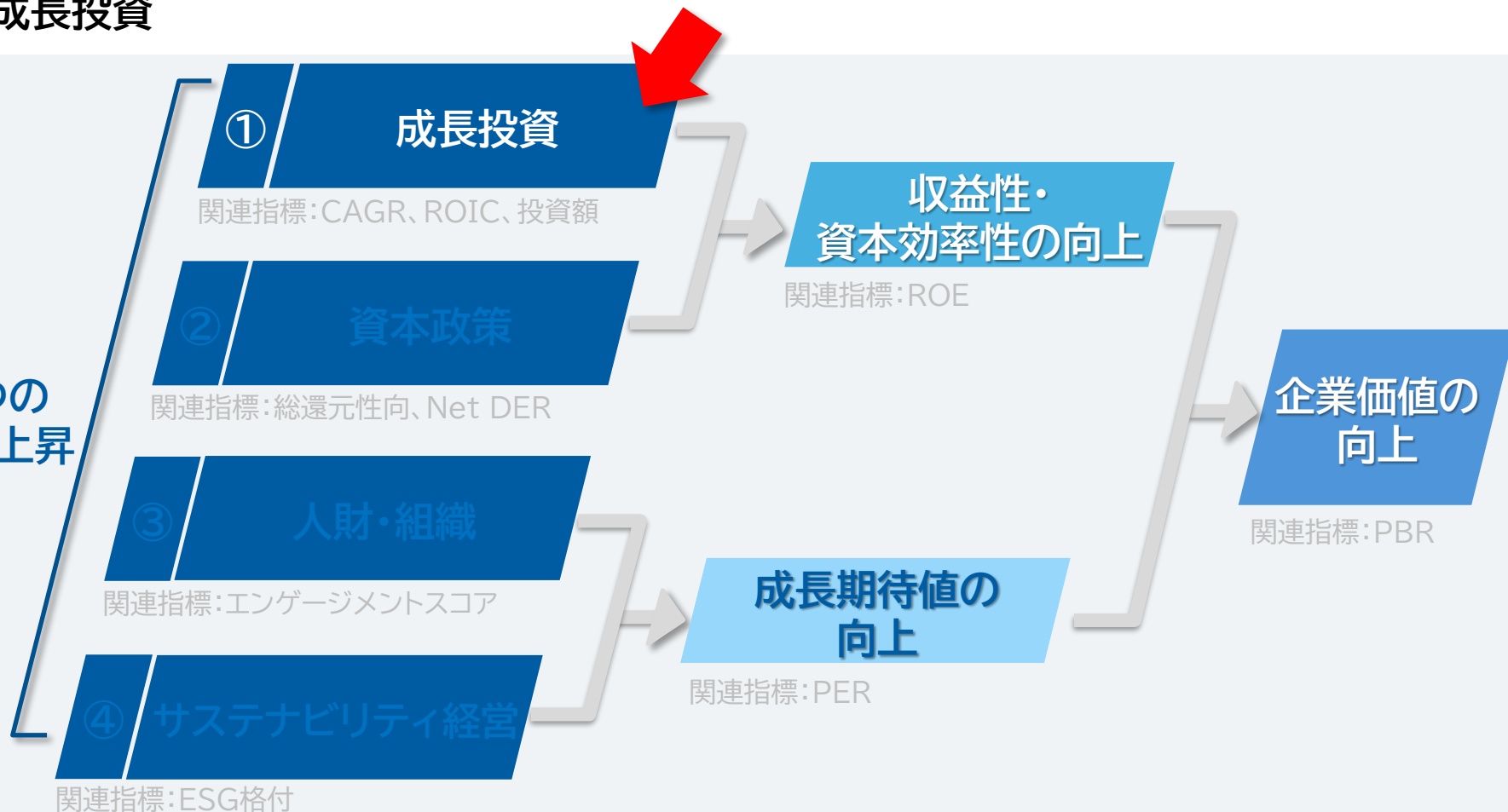
長期で目指す姿と中期経営計画

“次元上昇”と成長戦略

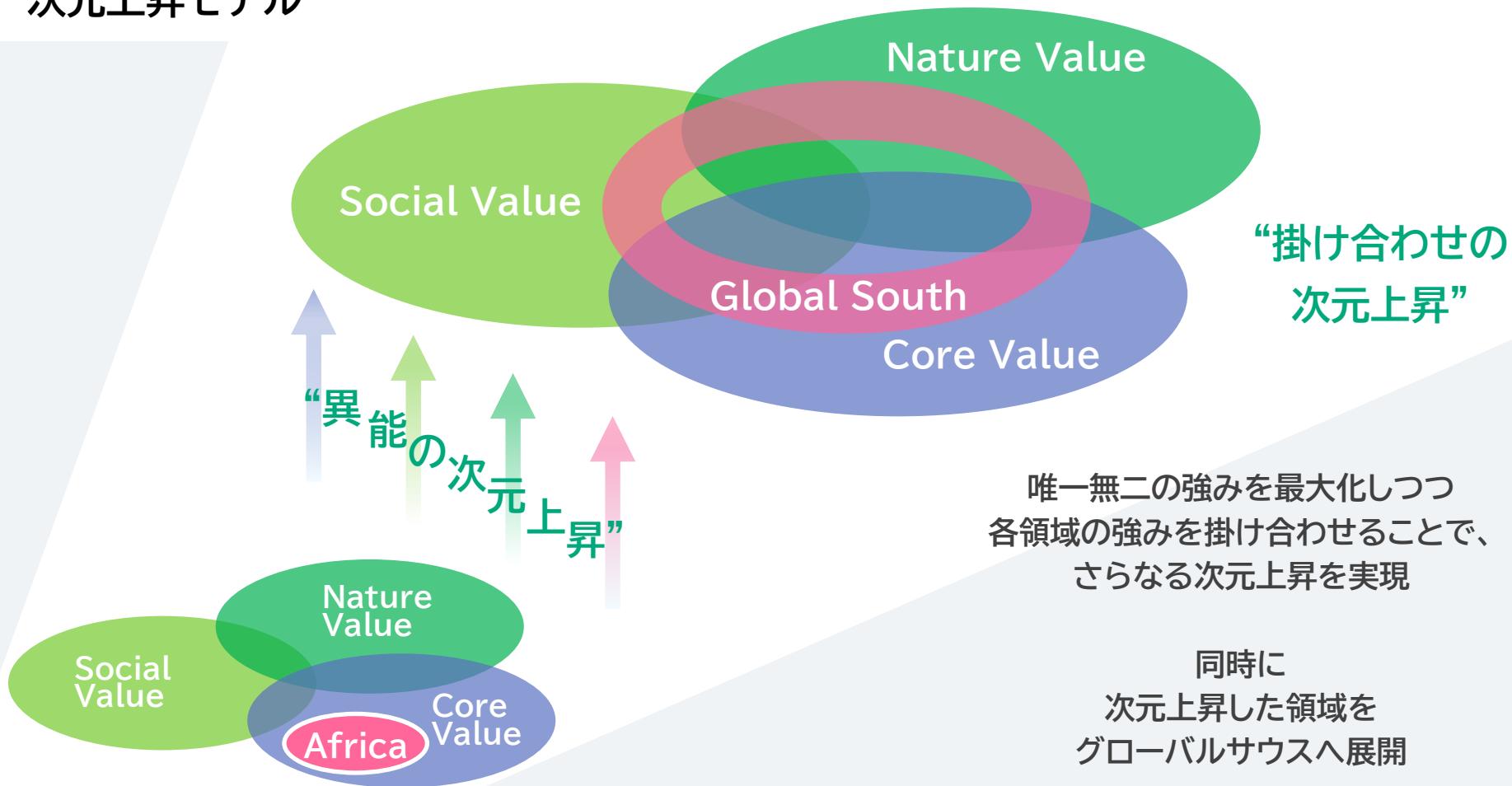
- ① 成長投資
 - ② 資本政策・株主還元
 - ③ 人財・組織
-

①成長投資

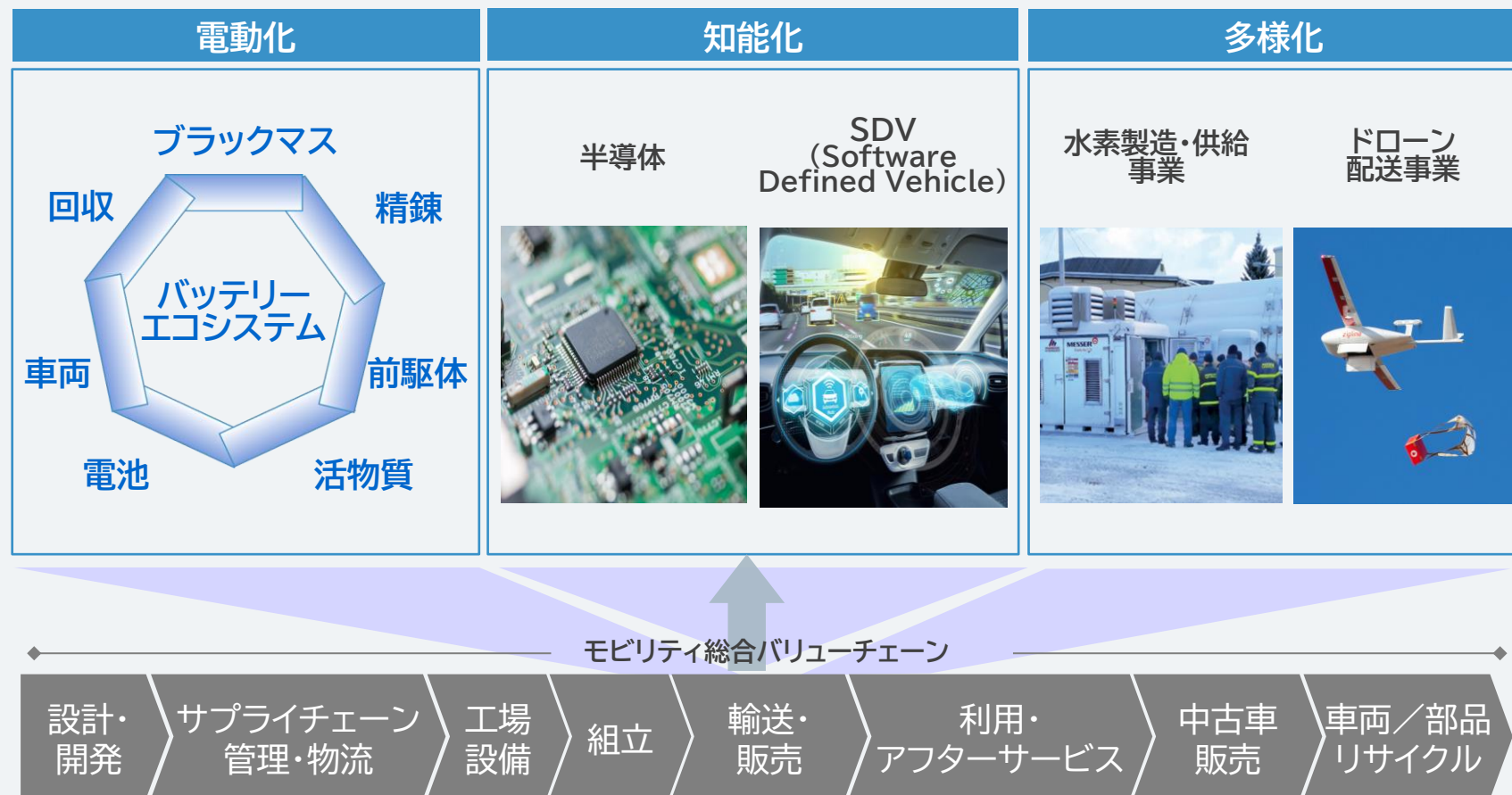
4つの
次元上昇



次元上昇モデル



次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 - Core Value -



次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 - Social Value -

動脈
サプライチェーン

静脈
サプライチェーン

工場排出の
スクラップ回収事業



北米100カ所の市中集荷網を
活用したスクラップ回収事業



使用済み自動車の「回収」
「破碎」「選別」によるリサイクル



豊田メタル(株)



高品質再生プラス
チックを生産

(株)プラニック



廃バッテリーの
レアメタル再資源化



使用済み触媒の
レアメタル再資源化



アルミ再生溶湯による
再生アルミ合金の供給



次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 - グローバルサウス -

4つの事業領域

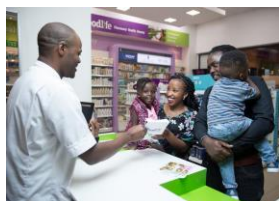
モビリティ



グリーンインフラ



ヘルスケア



コンシューマー

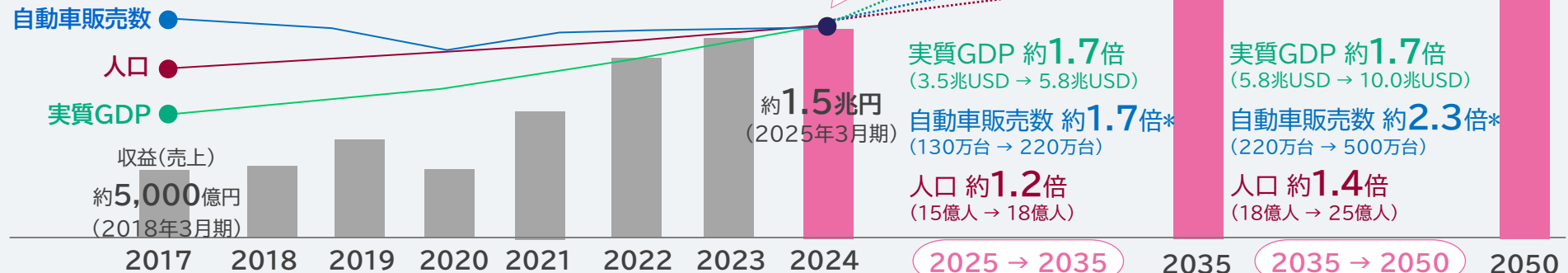


WITH AFRICA FOR AFRICA

全54カ国のネットワーク

2025年→2035年で
3倍の成長を目指す

2017年→2024年で
3倍に成長



* 当社推計値

中期経営計画 3年累計投資の内訳

Nature Value 3,000億円

- 陸上風力/太陽光発電新規
- 風力発電リプレイス
- 蓄電池事業

ROICターゲット: **5%以上**

Social Value 4,000億円

- リサイクル事業拡大
- 電池部材関連
- ヘルスケア領域拡大

ROICターゲット: **10%以上**

Core Value 5,000億円

- ブランディング能増
- セキュリティソフトウェア遠隔更新事業
- モビリティバリューチェーン拡大
- 非自動車サプライチェーン拡大

ROICターゲット: **15%以上**

アフリカ 2,000億円

- リース車両
ディーラー拡張
- 医薬品卸売・小売事業
- 風力/太陽光発電

その他
1,000億円

インド 1,000億円

- リサイクル事業
- 自動車サプライチェーン強化
- インドヘルスケア事業

グローバルサウス
への投資

1.2兆円

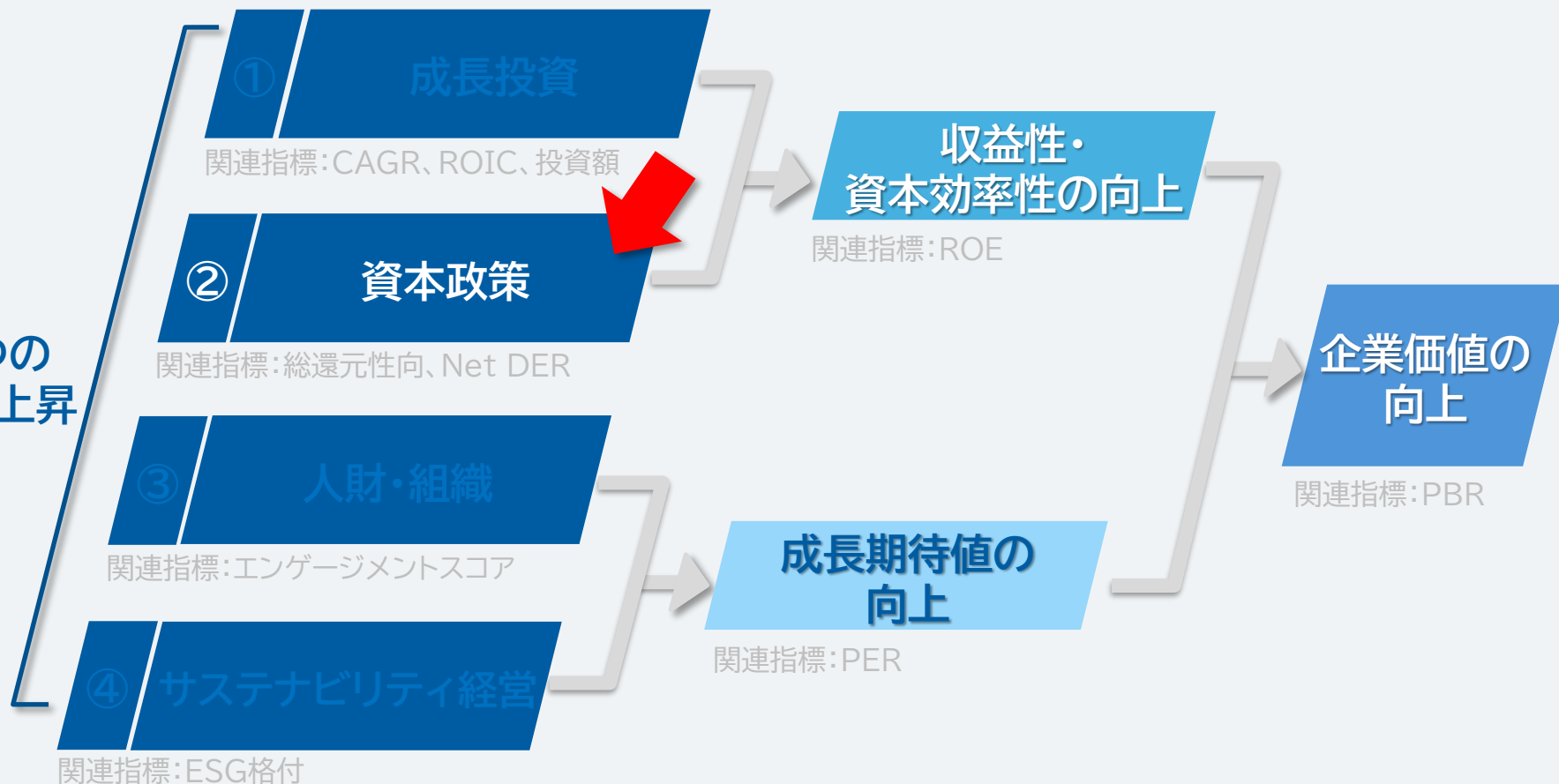
4,000
億円

ROIC…Return On Invested Capital(投下資本利益率)

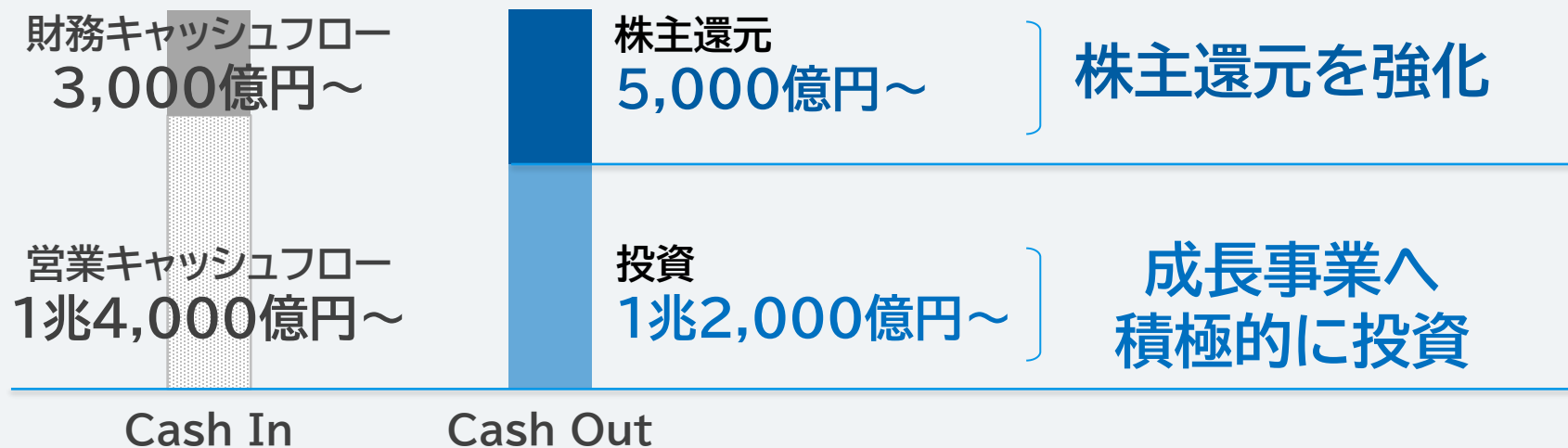
債権者から調達したお金に対して、どれだけ利益を出しているかを示す

②資本政策

4つの
次元上昇



強固な財務基盤を元に “積極的な投資/株主還元”を実施



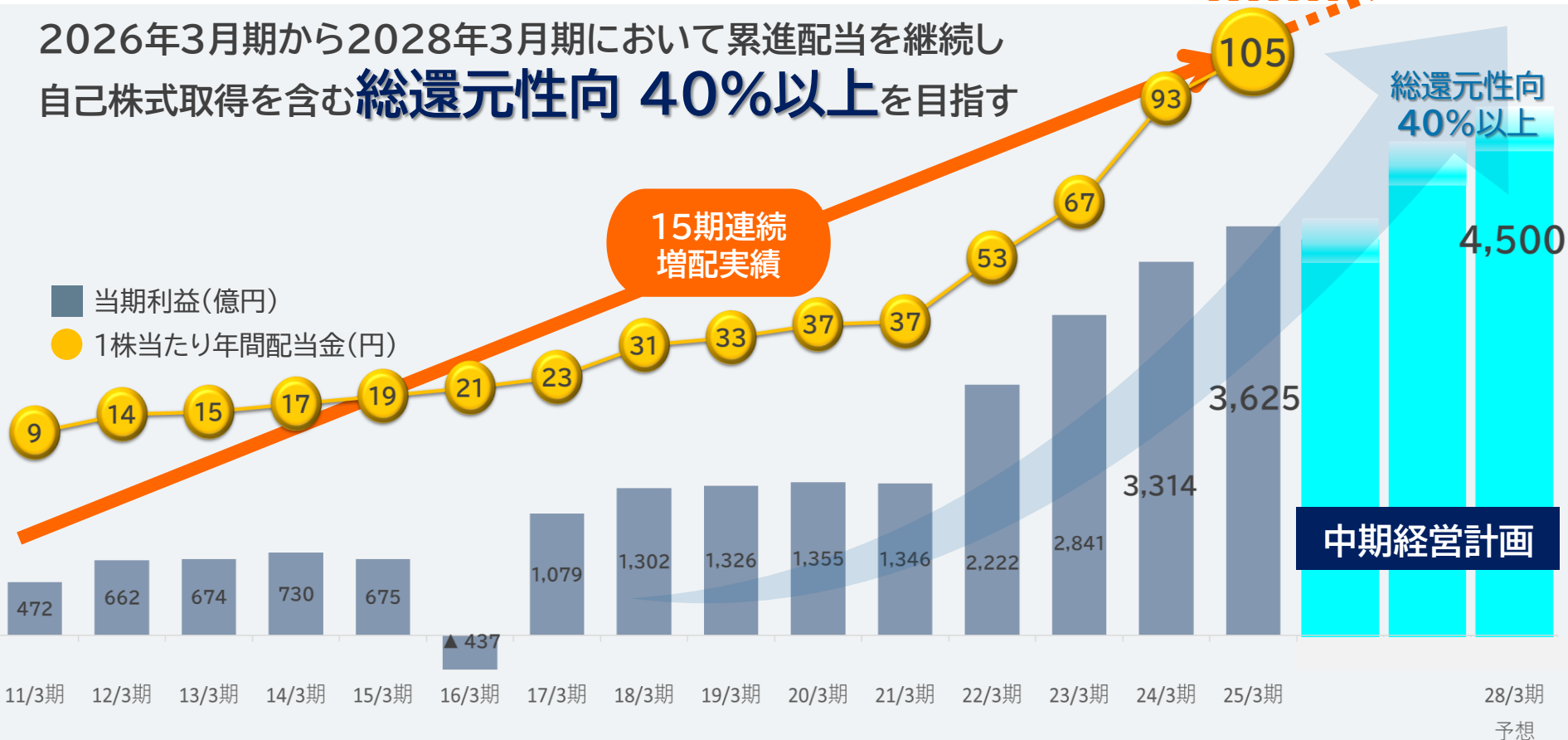
財務健全性の維持

- ・ ネットDER : 0.8倍以内
- ・ RA/RB : 1.0倍未満

株主還元方針

2026年3月期から2028年3月期において累進配当を継続し
自己株式取得を含む**総還元性向 40%以上**を目指す

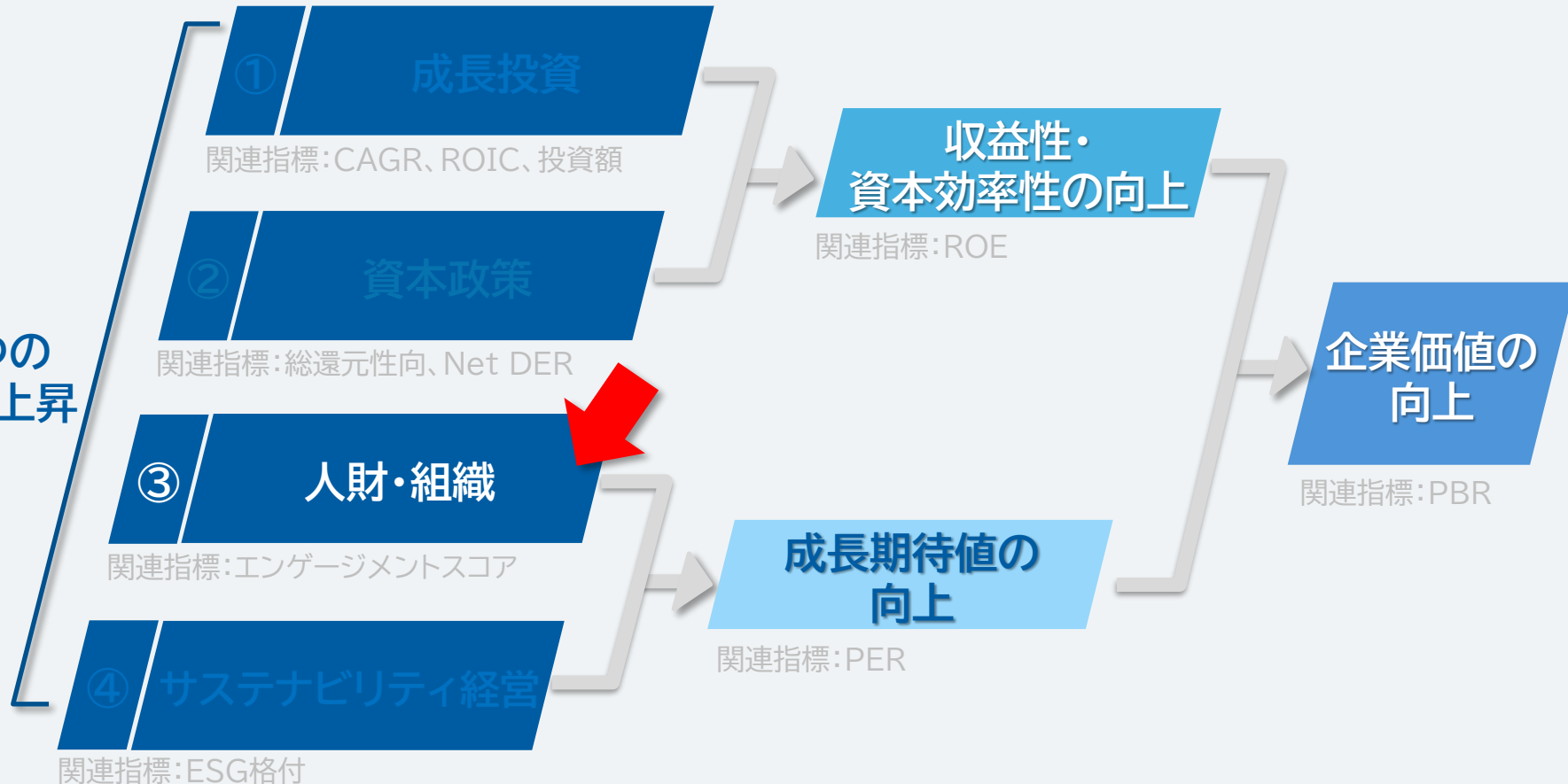
累進配当



(2024年7月1日を効力発生日として株式分割を実施。上記配当金は分割換算後の数値)

③人財・組織

4つの
次元上昇



③人財・組織

人的資本の状況

130カ国・地域での
約7万人の多様な社員

事業特性

収益(売上)の
約7割が海外



Toward
“People Company Toyotsu”

“人の豊通”への道のり

人事戦略

グローバルな“DNAの覚醒”と“躍動する生命体組織”の実現

企業価値の向上

成長期待値の向上

人財育成

—実現したい世界—

7万人の
DNA覚醒

個の志と覚悟を
醸成する現場での挑戦

人事戦略実現の2つの柱

組織躍動

—実現したい世界—²⁴

グローバル
での
適所適財

エンゲージメント
を高めあう
風土醸成

多種多様な
「個」が存在する
場の実現

異能の人財が集結する ”7万人の大旅団”



ご清聴ありがとうございました

Be the **Right ONE**



当社ホームページも、ぜひご覧ください
<https://www.toyota-tsusho.com/>

個人投資家向け情報 <https://www.toyota-tsusho.com/ir/individual/>

統合レポート2025
発行しております

投資家情報

個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

個人投資家向け説明会はこちら





Be the **Right ONE**

豊田通商株式会社

財務部 IR室

E-mail

ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社及びそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おさください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 当プレゼンテーション資料の掲載内容(画像、文章等)の全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を行うことを禁止します。